

## 日頃の教育に対する工夫、及び今後の教育への抱負

知能システム工学講座

小高知宏

この度は優秀教員に選出頂き、誠にありがとうございました。前回選出されたのはたしか10年以上前でしたから、ずいぶんと久しぶりの選出となります。加えて、定年退職直前の受賞となり、喜びとともに戸惑いも感じております。いずれにせよ、お選びいただいた学生の皆さんには御礼申し上げます。

さて、日頃の教育に対する工夫について雑感を述べさせていただきます。まず、大学教育は教員の好きなことを中心に教えるべきであると思っています。こう言うと、「教えるべきことが先にあって、それを工夫して教えるのが教育ではないのか」と反論を頂くかもしれません。

確かに教えなければならないことはたくさんあるのですが、そうしたことは、教科書や参考資料、それに教材動画などに掲載しておいて自習してもらうことにしています。その上で、講義においては、私自身が大好きで、学生の皆さんにも楽しんでもらいたい内容を中心にお話しを進めています。

昔からこうした傾向はあったのですが、コロナ禍以降動画教材を整備した結果、講義で隅から隅までを扱う必要がなくなったため、最近特に、自分の好きな教えたいたいことを中心に講義を進めています。今回の受賞は、嬉々として勝手なことを喋りまくる小高への評価だったのかもしれません。

次に、定年退職まであと3か月の身であるのに「今後の」教育への抱負を滔々と述べるのは何かが違うのではないかとも思いますが、この際ですから述べさせていただきます。

まず、教科書や専門書の執筆は続けたいと思っています。教員になる以前から現在まで、教科書や技術書、それに専門書の執筆及び翻訳等を行ってきましたが、今後は一般向けの入門書を含めて、さまざまな書籍の執筆に取り組みたいと思っています。こうした経験は、いかにして人に何かを伝えるかについて、さまざまな視点から考えるヒントになると感じています。

また、定年後も講義担当を続けたいと思っています。ありがたいことに、次年度は本学での非常勤任用を頂けるとのことですので、これについての教育実践を進めたいと思います。また、福井大学以外の大学での講義担当も、わずかではありますが予定しておりますので、こちらも頑張りたいと思っています。さらに、これまでもお引き受けしてきた企業内セミナーの講師や、教育動画サイトへの講師として出演などのさまざまな教育活動についても、機会があれば続けたいと思います。

以上、勝手なことを申し上げましたが、優秀教員のレポートさせていただきます。